

# 今後の西成特区構想について (平成30年度～平成34年度)

平成29年 8月30日

西成区役所

# 西成特区構想とは

## 西成区の抱える諸課題等

**(少子高齢化)** 15歳未満及び65歳以上人口について「2040年の大阪市の姿」が西成区の現状

- ・ 15歳未満割合 大阪市2040年 8.8% 西成区2010年 7.6%
- ・ 65歳以上割合 大阪市2040年 35.4% 西成区2010年 34.3% (国立社会保障・人口問題研究所データより)

**(不法投棄)** あいりん地域を中心として、ごみの不法投棄が後を絶たない

**(迷惑駐輪)** あいりん地域内では、道路上の迷惑駐輪が非常に多い

**(治安)** 路上における覚せい剤の売買、違法露店営業など

**(結核)** 西成区における結核罹患率は、大阪市の約4.5倍

**(野宿生活者)** シェルター利用者や路上、公園等で暮らす野宿生活者等が多数存在



大阪市の様々な課題が西成区に集約されている

課題解決には「まちの活性化・イメージアップ」「若者や子育て世帯の流入促進」が必要

**<西成が変われば大阪が変わる>**

西成区を変えることが大阪市の活性化につながる

# ◆ 西成特区構想のこれまでの経過

## 平成24年10月

西成特区構想有識者座談会報告書(8分野56項目の具体的提言)とりまとめ

### 「短期集中的対策」

野宿生活者・高齢日雇労働者・生活保護受給者の自立・就労支援や、結核対策、治安対策、不法投棄対策など、あいりん地域を中心とした諸課題への対応

### 「中長期的対策」

子育て施策、教育施策、観光振興、アート振興など、急速な人口減少・需要減少時代を見据えた西成区全体の将来の活性化に向けての施策

### 「将来のための投資プロジェクト・大規模事業」

あいりん総合センター・日雇労働市場のあり方、未利用地の戦略的活用など、地域と連携して将来のまちのあり方を検討

## 平成25年7月

西成特区構想の推進にあたり、施策の実施・検討には住民等の意見を反映することが不可欠であることから、有識者・住民・団体・行政等からなる「**エリアマネジメント協議会**」を設置し、提言についてテーマ別に「**ボトムアップ方式**」で議論を重ね、その内容に基づき関係各局が施策・事業を具体化

## 平成27年6月～現在

あいりん地域のまちづくりに特化した意見聴取の場として、「**あいりん地域まちづくり会議**」及び「**テーマ別検討会議**」を設置

# 西成特区構想 5年間の主な取り組み

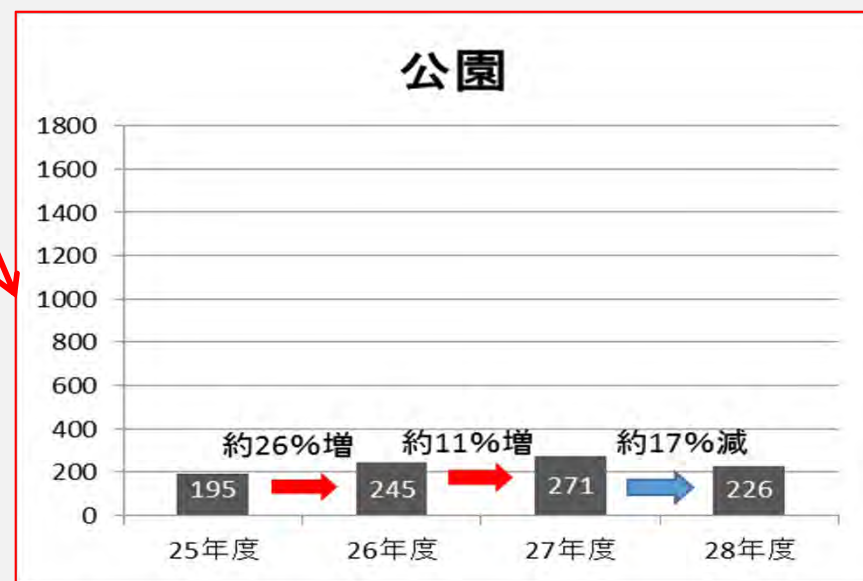
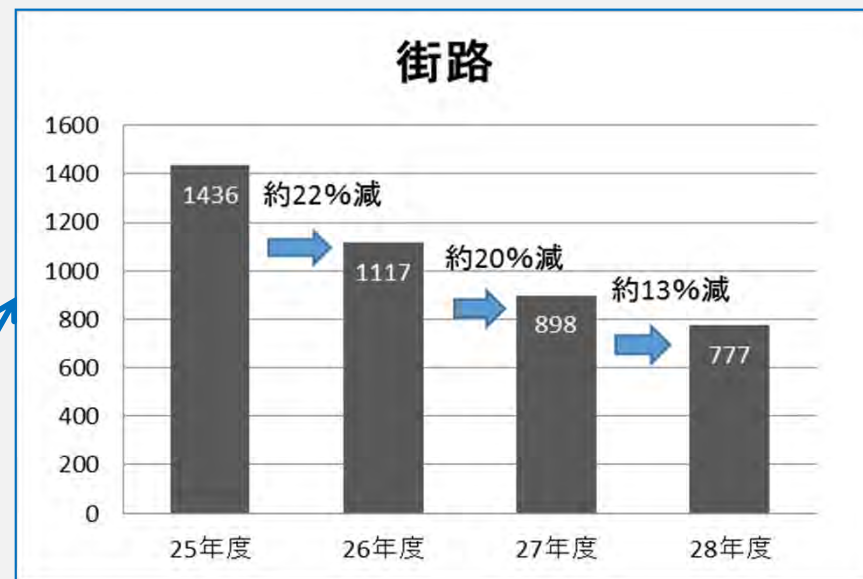
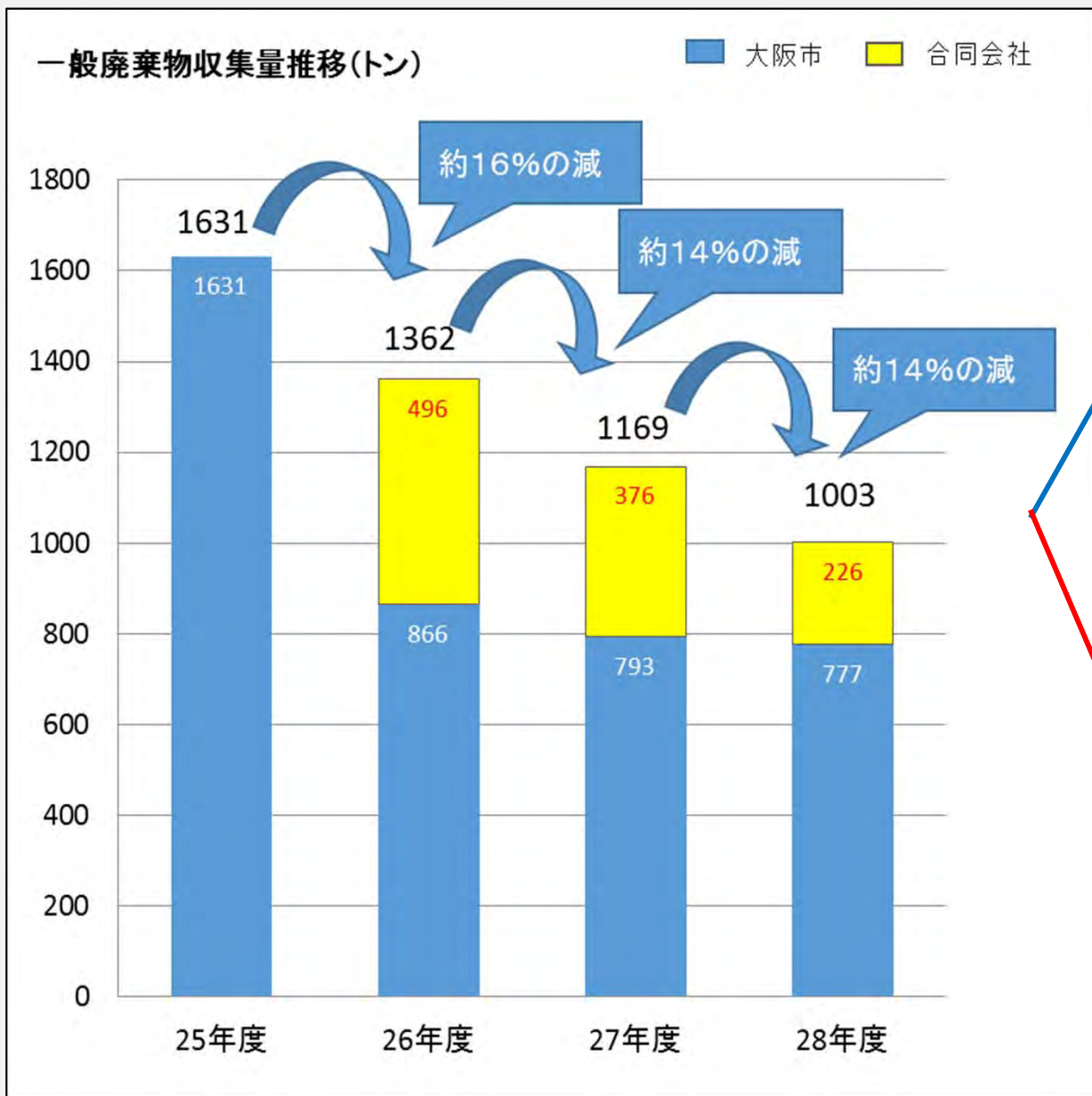
分類	主な取り組み	概要・成果
短期集中的対策	不法投棄対策	徹底した清掃・収集、ごみの不法投棄抑制に向けた巡回、チラシの配付による啓発などを実施し、さらに警察と連携した不法投棄の抑止により、不法投棄ごみ収集量が大幅に減少した。
	落書き対策	あいりん地域内における落書きの消去及び再発防止策を実施し、再落書きの被害もほぼなくなった。
	迷惑駐輪対策	自転車置場整備、迷惑駐輪自転車撤去等を実施し、迷惑駐輪台数が減少した。自転車置場の利用率も好調である。
	防犯対策	あいりん地域を中心に、防犯カメラ設置、安心安全活動拠点整備、道路照明灯LED化に取り組んできた。また、警察との連携により、覚せい剤の路上売買・違法露店等の取締りが強化され、ほぼ解消された。 西成区全体として、青パトによる巡視等を実施し、街頭犯罪発生件数が大幅に減少した。
	結核対策	結核健診の拡充による患者の早期発見・早期治療の推進と長期間にわたる服薬に対する支援（DOTSなど）を充実したことにより、結核新登録患者数が着実に減少してきた。



# 西成特区構想 5年間の主な取り組み

分類	主な取り組み	概要・成果
中長期的対策	プレーパーク事業	<p>こどもの生きる力を育む居場所として実施。平成26年度適地調査、平成27年度モデル実施を経て、平成28年度からトライアル実施し、3つの場（遊び場・学び場・たまり場）を展開。毎年来場者数が増加し、平成29年度は区外来場者が約3割。課題を抱える子どもの生きる力の向上に寄与。保護者の交流の場にもなっている。</p>
	簡易宿所設備改善助成事業	<p>大阪の外国人観光客等の増加に対応するため、西成区内の簡易宿所の事業者に対して、設備改善工事費の一部助成を実施することで、観光客等の受け入れ環境の整備を促し、地域のにぎわいを創出。</p>
将来のための投資プロジェクト ・ 大規模事業	あいりん総合センター 建替え	<p>あいりん総合センターは、耐震化について早急な対策が求められていたが、国・府・市が所管する施設が合築した建物であること、地域の行政への不信感などから、なかなか議論が進まなかった。しかし、「あいりん地域まちづくり会議」で地域の関係者をはじめ国・府・市も同じテーブルに着いて議論を重ねた結果、市営萩之茶屋住宅及び大阪社会医療センターの移転、労働施設の仮移転について合意が得られた。</p>

# あいらん地域の不法投棄ごみ収集量

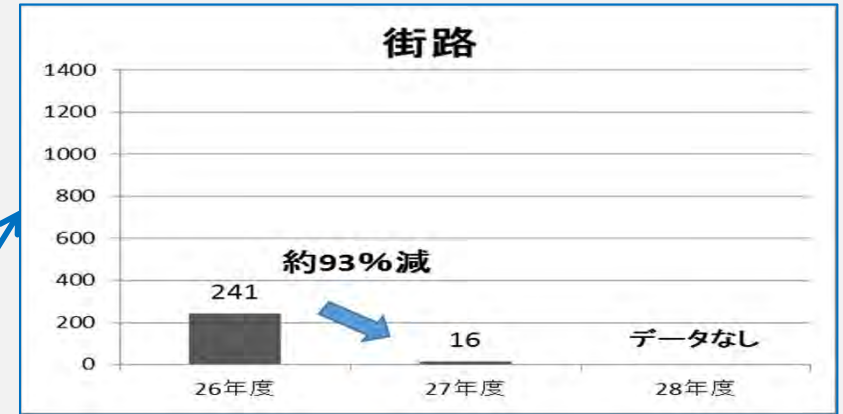






# あいりん地域の不法投棄ごみ収集量

萩之茶屋南公園（通称：三角公園）における不法投棄ごみの処理





# 不法投棄対策改善事例

対策前



対策後



課題

地域全体の不法投棄は減少しているが、公園においてはあまり減少しておらず、引き続きの対策が必要である。





# 落書き消去実績

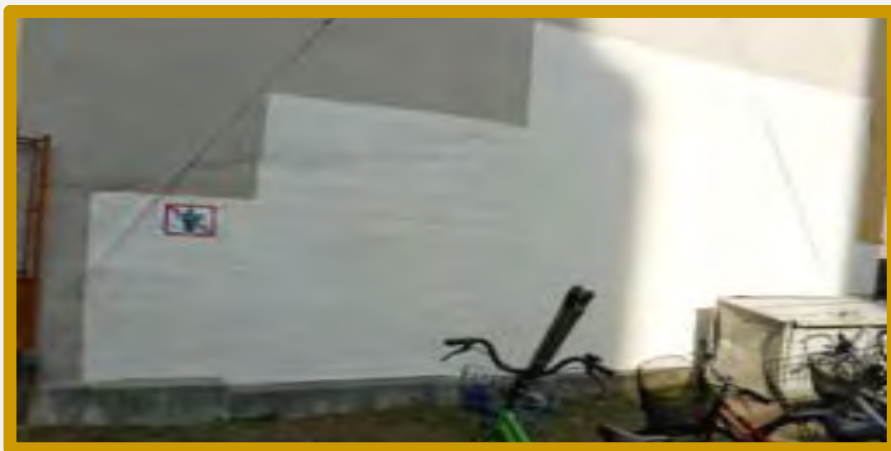
【平成27年度】 15箇所 約516㎡

【平成28年度】 56箇所 約816㎡

対策前



対策後

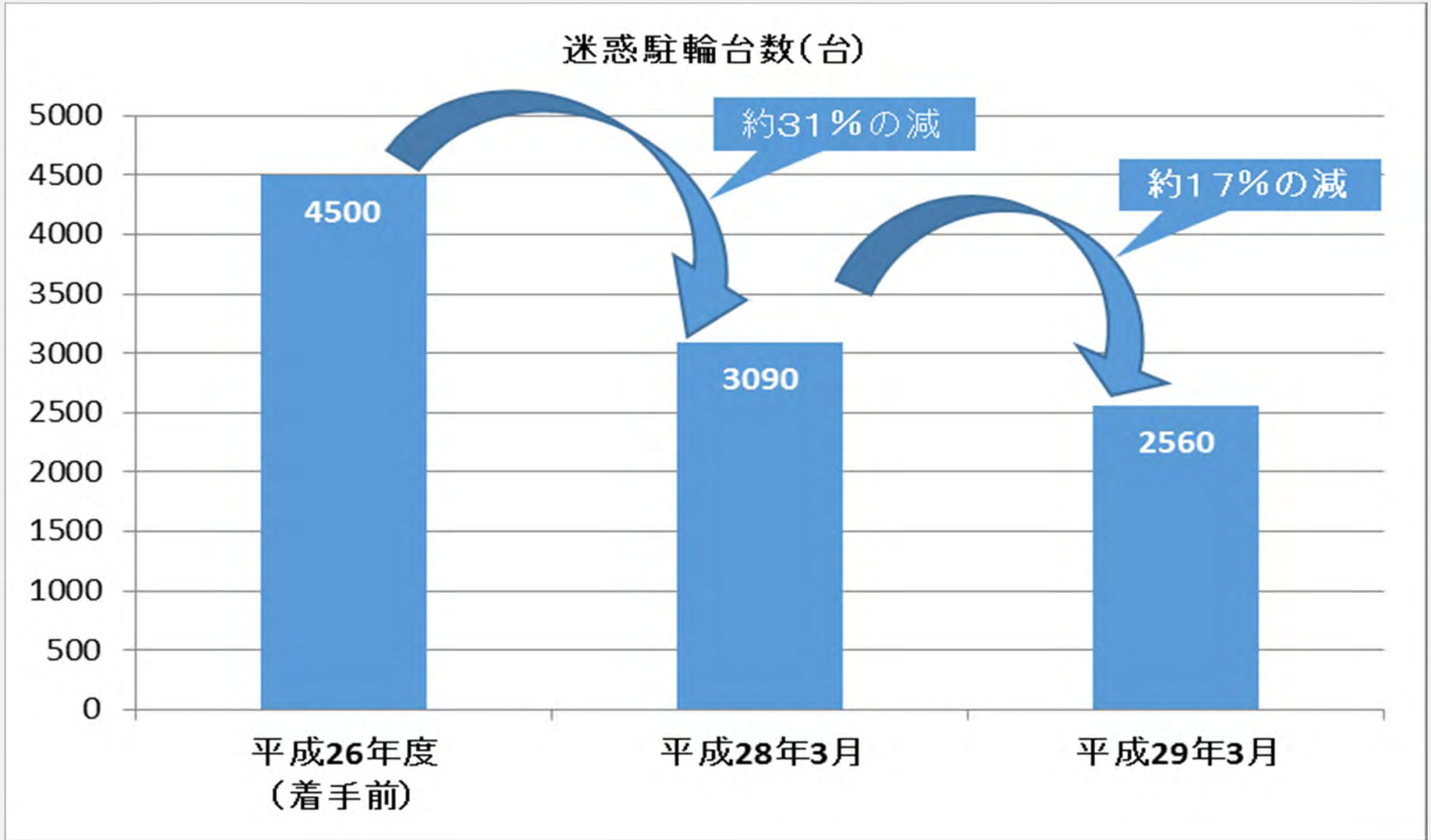


課題

再度落書きがされた場合には、即時に消去を行い現状を維持していく必要がある



# あいりん地域の迷惑駐輪台数





# 駐輪対策改善事例

対策前



対策後



課題

平成29年度で駐輪場の整備は終了予定、今後は啓発・撤去により台数を削減していく必要がある。





# 防犯対策における主な取り組み

西成区安心安全活動拠点  
「あいステーション」整備  
(ボランティア連絡会の様子)



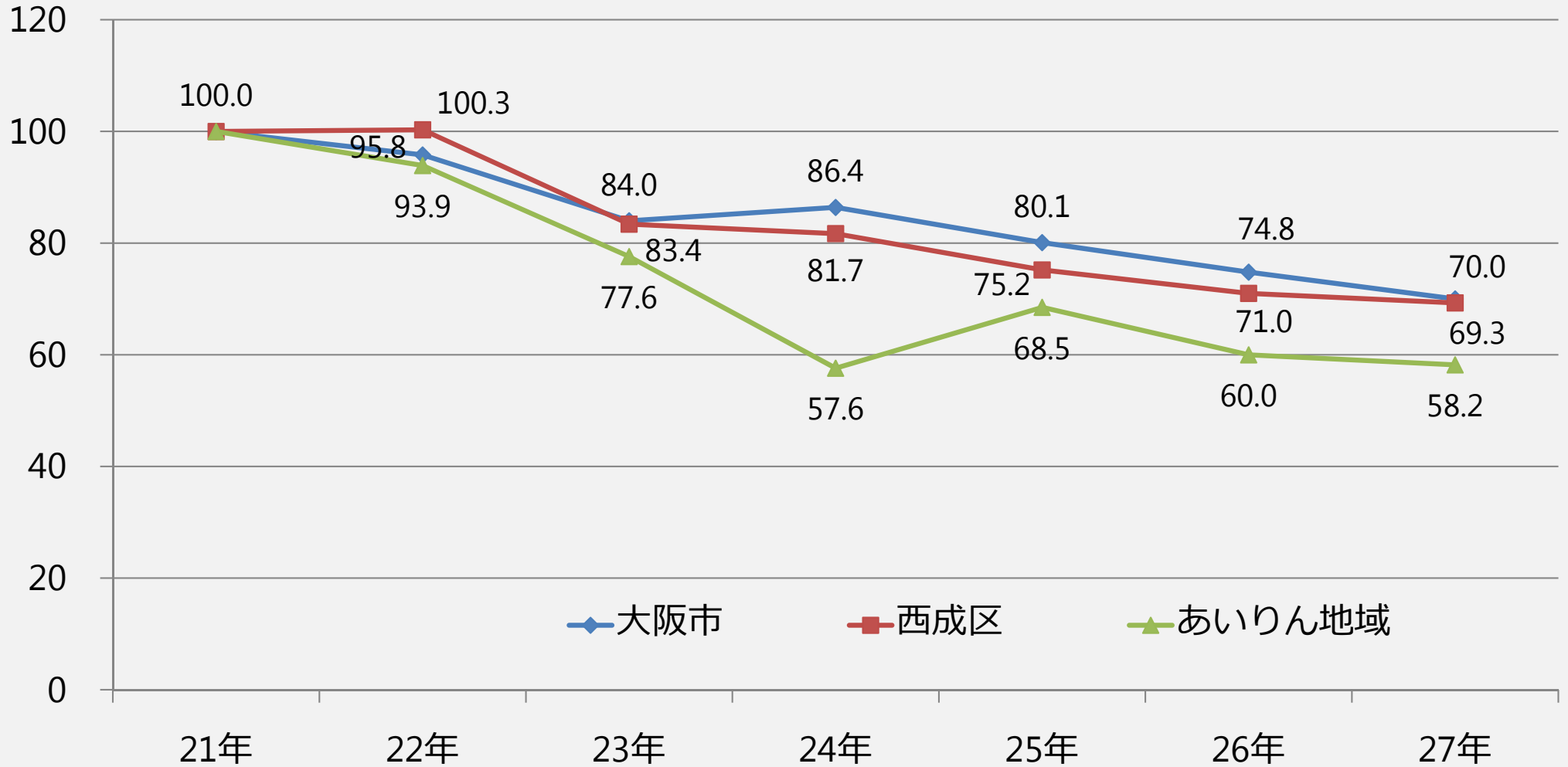
ひったくり防止カバー  
無料取付

青色防犯パトロール  
カー及び自転車による  
巡回(常時)



# 西成区における結核対策

新登録患者の推移（平成21年新登録患者数を100とする）



## 課題

結核の新登録患者数は減少しているが今なお多いため、引き続き集中的な対策が必要。





# プレーパーク事業

# 各場の様子



遊び場 (タイヤプール)



学び場 (プログラミング)



遊び場 (火おこし)



たまり場



# プレーパーク事業 実施状況

年度	受託事業者	日数	来場者数	来場者平均
平成26年度 (適地調査)	大阪市立大学	5日	485名	97名
平成27年度 (モデル実施)	大阪市立大学	58日	2,866名	49名
平成28年度 (トライアル実施 1 年目)	にしなりプレーパーク プロジェクト	60日	5,525名	92名
平成29年度 (トライアル実施 2 年目)	にしなりプレーパーク プロジェクト	21日 (4~6月)	3,935名	187名
		84日 (年間実施 予定日数)	—	—

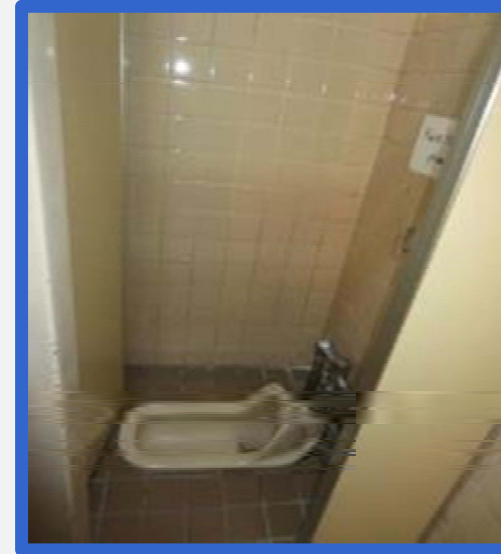


# 簡易宿所設備改善助成事業

【平成27年度】 7施設

【平成28年度】 12施設

整備前

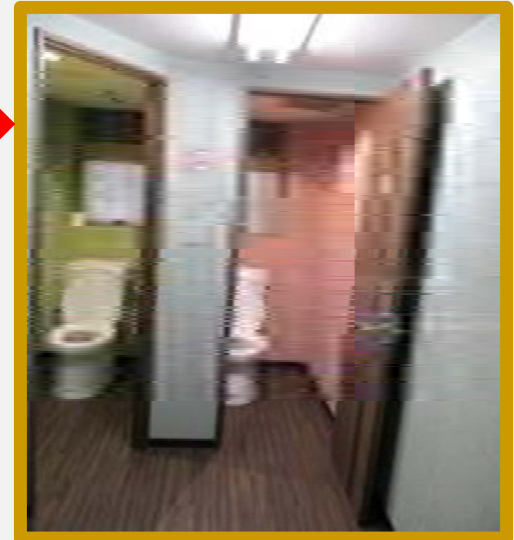


整備後

客室整備



トイレ整備





# 西成特区構想の5年間の総括

- 行政主導ではなく、地域住民や様々な活動をしている人々が主体となる「ボトムアップ方式」による議論の仕組みができたことが、特区構想推進の大きな原動力。
- ごみの不法投棄対策・迷惑駐輪対策などの短期集中的な取り組みにより、地域の方々からは「まちがきれいになった」との評価。まちの環境改善等に大きな成果。
- これまでの取り組みの検証により、その目的が達成できたものは終了。一方で、成果を維持するために必要な取り組みを継続するとともに、残された課題 — 不法投棄、迷惑駐輪、結核、中長期的課題等 — についても引き続き特区事業として継続することが必要。
- 特に、中長期的課題である子育て施策や観光振興など、将来の活性化に向けた取り組みは、まだ緒についたばかりであり、より一層の推進が必要。
- 今後本格化する「あいりん総合センター」の建替えやまちづくりの議論など、引き続き課題についても継続した取り組みが必要。





# 西成特区構想の全体スケジュール

(平成25年)  
2013年

(平成29年) (平成30年)  
2017年 2018年4月

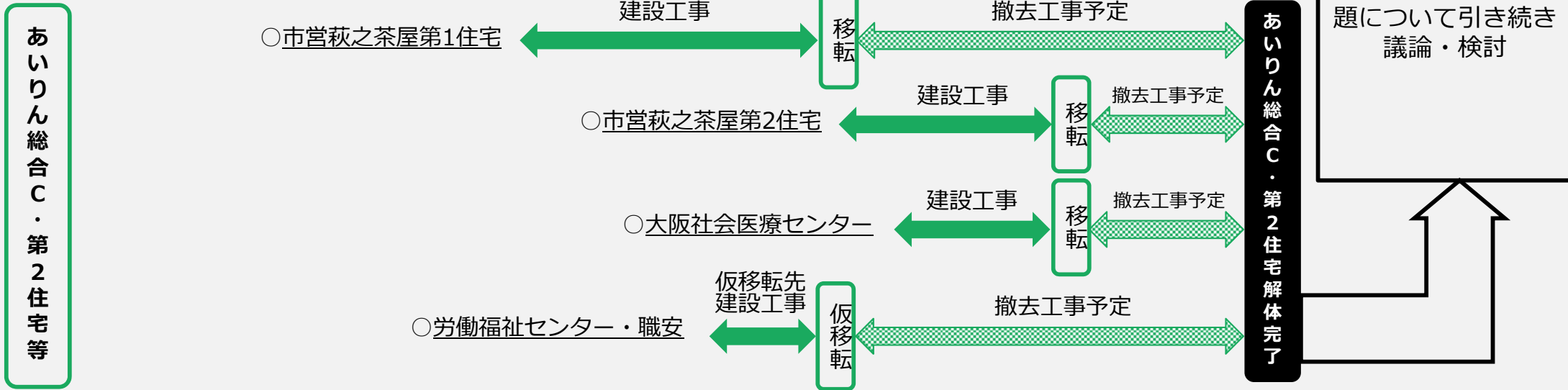
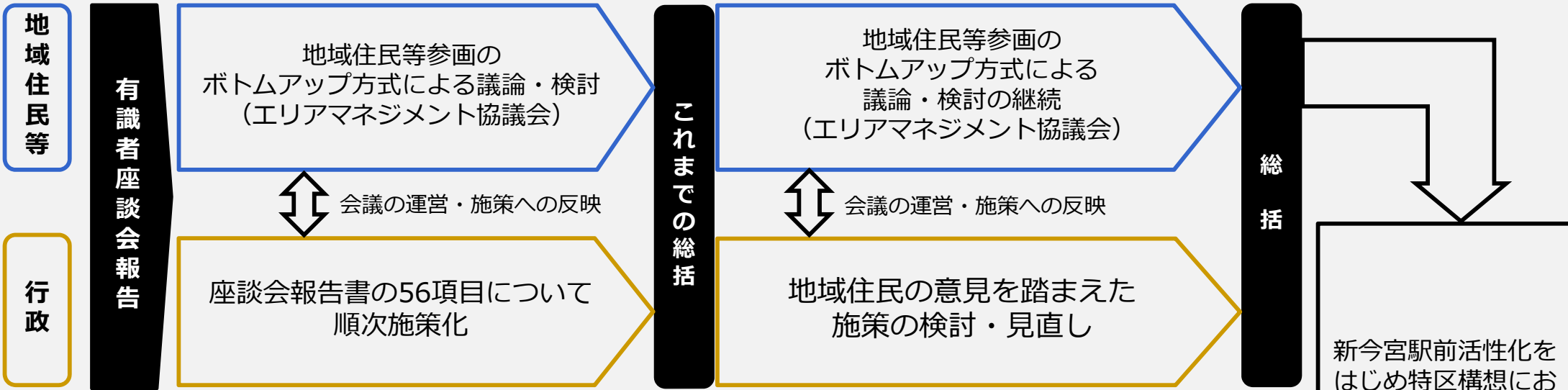
2019年

2020年

2021年

2022年

(平成35年)  
2023年4月







# 今後の西成特区構想について

- 特区構想として、資源や人材を思い切って投入し、一気呵成に問題解決を進めたことにより、あいりん地域を中心とした目の前の諸課題の解消については大きく進んだ。
- しかし、西成区全体が変わるためには、あいりん総合センターの建替えが本格化する次の5年間で、「まちの活性化」や「若者や子育て世帯の流入促進」などのまちづくり課題についての議論を深め、具体化につなげる必要がある。そのためにも、引き続き、中長期的対策を中心に、重点的に取り組みを進めていく。
- なお、具体の取り組み検討にあたっては、引き続き地域住民等の主体的な意見を踏まえた「ボトムアップ方式」により行う。
- 平成30年度予算に向けては、これまでのエリアマネジメント協議会での議論や、今後の市会の議論を踏まえ、次期・西成特区構想を取りまとめていく。